



新たに建設された施設
で過ごすエゾタヌキ



動物園からの
手紙 [348通目]

今この季節の、動物の姿を見て！

10連休も終わりました。ととりの村の池の改修工事のため、展示ができていなかったフラミンゴ舎が、2シーズンぶりにオープンしました。これで、全ての展示施設がオープンしている状態となります。さらにはエゾタヌキ舎、エゾクロテン・ホンドテンの施設、ニワトリ・アヒル舎も新たに建設しました。「なんか地味じゃない？」と感じる方もいるかもしれませんが、より中身の充実した動物園を目指し、こつこつと積み重ねていくと考えています。今年度中に、エゾユキウサギ・キタキツネ舎、来年度は、エゾヒグマ館（仮称）を建設予定で、身近な動物たちをテーマに充実を図ります。今後ますます人ごとではなくなる環境問題、ヒトと野生動物との軋轢、これらの問題を解決するヒントを示すことができないような飼育展示を目指します。

先日知床を訪れ、食べ物を探しながらのんびりと沼辺を歩

き回るタヌキを、1時間近く観察できました。案内してくれた知床財団の方が、タヌキをこんなに長い時間見続けたのは初めてだと感動していました。動物園では、誰もが気軽に同じような体験ができるのです。

来園者には、動物たちの生き生きとした姿、私たちが自慢したい動物たちの素晴らしい行動を見てほしいと思っています。ペンギン館とあざらし館では水中での美しい姿が広く知られていますが、来園者が多かった10連休の時期は、ペンギンたちは繁殖期で、産卵が始まって水中に入る時間が少なくなります。また、あざらし館ではゴマフアザラシの年に1度の換毛期で、この期間は陸上で過ごす時間が長く、水中で活動する時間が短くなります。結果としてペンギン館の水中トンネル、あざらし館のマリンウェイには誰もいない！なんてことも起きてしまいます。この時期は、ペンギンたちの命をつなぐ姿、アザラシの黄土色の古い毛に覆われたエビフライのような姿をぜひ見てください！

旭山動物園をもっと楽しむ

【詳細】旭山動物園
(東旭川町倉沼 電話36・1104)

絵本の読み聞かせ

日毎月第2土曜日 11:00から
所動物図書館

ワンポイントガイド

内動物たちのエピソードなどを紹介
日毎週日曜日、祝日 13:30から

52回目の開園記念日

内7/1(月)に、飼育員によるマルチポイントガイドなどを開催

夕暮れの動物園撮影教室

日7/13(土) 17:30~20:00
定40人
講写真家 今津秀邦さん
申電話で6/21(金)9:00から

とことん旭山

内日動物園裏側探検
●きりん舎・かば館編=7/20(土)
●旧キリン舎・カバ舎・調理棟編=7/27(土) いずれも11:00から
定各20人
申電話で各日3週間前9:00から

旭山自然観察会 「何が聞こえる?夜の観察会」

日7/27(土) 18:30から
定15人
申電話で7/6(土)9:00から

サマースクール (全3回)

内飼育体験で動物の生態を学ぶ
日8/1(木)~3(土) (各日日帰り)
対全日参加できる小学5・6年生
定40人(選考)
申郵送で6/30(日)まで(必着)

